

2017年11月29日

神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

日本共産党神奈川県議会議員団
団長 井坂 新哉

2018年度神奈川県予算・施策に関わる要望の追加について

知事に於かれましては日頃より県政の推進にまい進されておられますことに、心から敬意を表します。

さて、本年10月11日に「2018年度神奈川県予算・施策に関わる要望書」を提出させていただきましたが、その後も県民から切実な要望が多数寄せられています。

つきましては、これらの要望を追加分として提出させていただきますので、是非とも県政にご反映いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

2018年度
神奈川県予算・施策に関わる
追加要望書



2017年11月29日
日本共産党神奈川県議会議員団

【1】提出済み要望書の p3

《2》の(2)「高等学校教育の充実について」への追加

- 9) 県立高校では、図鑑が必要にもかかわらず予算に比して高額なため購入できないなど、必要な図書を取り揃えられない実態がある。県の年間予算8万円は実際の図書購入費の4分の1にすぎず、その多くを一部の保護者が集める私費(24万円)に頼っている高校もある。県立高校予算を増額し、生徒の勉学に必要な図書費を十分に確保すること。
- 10) 養護教諭が非常勤の高校では、午後2時半から3時にかけて勤務が終了するため、授業中であるにもかかわらず養護教諭がいないという事態が起きている。これでは生徒の不慮のケガや病気等に対応できず、早急に改善が求められる。直ちに正規雇用の専任養護教諭を配置すること。
- 11) 会議室や応接室に冷房が完備されていない高校がある。猛暑のときには教職員や保護者等が劣悪な環境に置かれることが容易に想像でき、会議の円滑な運営や効率性からも問題である。県立高校の全面冷暖房化を計画的に進めること。

【2】提出済み要望書の p6

《3》の[1]の(4)「医療提供体制及び保健事業の充実に向けて」への追加

- 6) 差額ベッド料の支払いを患者の意に反して医療機関から請求される問題の解決に、県として積極的に取り組むこと。
 - ① 患者が差額ベッドを希望しないのに「保険適用のベッドが満床で差額ベッドしか空いていない」場合は、保険適用の料金のみで患者を受け入れて必要な治療を行うよう、県として医療機関に求めること。2016年6月24日付厚生労働省通知(保医発0624第3号)の主旨を改めて医療機関に徹底するとともに、県民にも解かりやすく周知すること。
 - ② 差額ベッドの利用についての同意書を患者本人等の意に反して書くことがないよう、県民に周知するとともに、医療機関に対しては患者に選択の余地があることを丁寧に説明するよう、県として求めること。
 - ③ 国・厚生労働省に対して、総病床数に占める差額ベッドの比率を、国公立民間の各種別に、また都道府県別に示すよう、県として求めること。
 - ④ 県が毎年実施している「県民ニーズ調査」において、「意に反して差額ベッド料の支払いを請求されたことがあるか」「あなたは病気やケガで入院しなければならなくなったときに、差額ベッド料金を払って、ゆったりとした快適な環境の特別室に入院したいと思いますか。それとも保険内の料金で済む大部屋の一般ベッドに入院したいと思いますか。」などの設問を設けて、差額ベッドをめぐる県民の状況や意識動向を分析すること。

【3】提出済み要望書の p13

《3》の[6]の(2)「高齢者が地域で生き生きと暮らせるために」への追加

- 5) 県営住宅の新設や建て替えの機会を捉えて、高齢者の見守り機能を備えたシルバーハウジングを整備すること。そのために、見守り機能を分担する市町村と協議を行い、課題があれば解決を図り、整備を促進すること。

【4】提出済み要望書の p14

《3》の[7]の(3)「障がい者の日常生活や活動支援の強化に向けて」への追加

- 6) あはき業を自営している視覚障がい者に対して、往療(出張)するためのガイド、治療所の清掃、経理や保険請求等の書類の作成等を援助するためのアシスタントを配置する制度を新設すること。また、国に対して制度化を働きかけること。

【5】提出済み要望書の p15

≪3≫の[8]「未病関連事業予算について」の後に[9]を追加

[9]. 保健衛生について

(1) 公衆浴場を維持するための事業者の取り組みを支援すること

- 1) 公衆浴場設備整備費補助の対象に、ヘルシーパーク健康増進施設・サウナ室・多目的スペース設備等を加えること。
- 2) 公衆浴場施設整備等資金利子補給制度を復活すること。

【6】提出済み要望書の p19

≪5≫の[1]の(1)「地震・津波対策の強化と土砂災害や水害の防止について」への追加

- 9) 2015年4月に策定した「境川水系河川整備計画」は総事業費(県負担分)が約1200億円と見込まれ、概ね30年間で実施するとされている。つまり、30年で完了するために必要となる年間予算額の目安は40億円であるのに対し、県の2015年度決算額は13億円余、2018年度決算見込額は9億円余となっている。人員体制を充実強化し予算も確保して、整備計画の着実な推進と前倒し実施を図ること。

【7】提出済み要望書の p20

≪5≫の[2]の(1)「県営住宅の建設と修繕等について」への追加

- 6) 県営住宅の空き家はすべて入居募集にかけ、県民の利用に供すること。入居募集のために一時的に必要なリフォーム経費は、家賃収入で早期に回収できることを踏まえ、予算を確実に確保して入居募集を100%行うこと。

【8】提出済み要望書の p20

≪5≫の[2]の(3)「福島原発被災者への住宅支援について」への追加

- 3) 災害救助法にもとづく応急仮設住宅として県営住宅に入居している被災者について、国が応急仮設住宅の提供終了を決定したときは、被災者が希望し公営住宅の入居収入基準を充たす場合は、公募によらずに当該県営住宅への継続入居を認めること。

【9】提出済み要望書の p20

≪5≫の[3]「水道事業の改善」への追加

- 8) 企業庁・公営企業資金等運用事業について、子育てや介護等の施設整備への政令指定都市も含めた拡充を図るなど、対象事業を見直し、県民福祉の向上に役立てること。

【10】提出済み要望書の p21

≪5≫の[4]の(1)「アスベスト対策の強化について」への追加

- 10) 環境省は「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」に取り組んでいるが、この調査は平成31年度まで実施されると聞いている。公営住宅等に使用された吹付アスベスト等による被害の拡大も想定されることから、神奈川県としてこの調査に参加すること。
また、現在県内では横浜市鶴見区が調査対象地域とされているが、県内の保健所を持つ全自治体がこの試行調査に参加するよう、各自治体に働きかけること。

【11】 提出済み要望書の p 21

《 5 》の [4] の (2) 「地球温暖化対策の促進について」への追加

- 7) 農業を守りながらクリーンエネルギーを推進する手法の一つとして、農地を活用したソーラーシェアリングが取り組まれている。千葉県では220カ所、静岡県では120カ所と言われているが、神奈川県では6カ所ほどしかない。この遅れは県の農政のあり方とも関係するとの指摘もある。原発政策からクリーンエネルギー政策に転換する上で有効な手法の一つであり、市民や民間の活力を活用した新たな産業としても注目される。県としてソーラーシェアリングを推進すること。

【12】 提出済み要望書の p 22

《 5 》の [5] の (1) 「不要不急の大型公共事業の中止について」への追加

- 3) 羽田空港へのアクセスをわずか10分短縮するだけの「羽田連絡道路」整備事業は中止を求め、県の財政負担(約17億円)は撤回すること。
4) カジノ誘致を含む総合リゾート開発は進めないこと。

【13】 提出済み要望書の p 22

《 5 》の [5] の (3) 「地域交通及び都市環境の整備について」への追加

- 6) バス交通など県民の移動手段の充実について
①バス路線維持など交通不便地域の公共交通の維持・充実に取り組んでいる市町村に対し、県として財政支援すること。
②ミニバス運行など努力している事業者、自治会、NPO等に対し、県として財政支援を行うこと。

【14】 提出済み要望書の p 26

《 8 》の [4] の (1) 「オスプレイの飛行について」への追加

- 2) 特に、沖縄県普天間基地からの早急な撤去を国及び米国に求め、自衛隊への配備撤回を国に求めること。
3) 厚木基地をオスプレイの訓練拠点にしないよう、国や米国に求めること。

【15】 提出済み要望書の p 27

《 8 》の [5] 「空母艦載機の着艦訓練・日常訓練・基地周辺の生活環境の安全確保等」への追加

- 5) 米陸軍川上弾薬庫(広島県東広島市)から米陸軍キャンプ座間との間で恒常的に爆発物や弾薬が民間業者により輸送されていることについて、基地周辺住民や輸送ルートの住民の不安が広がっている。川上弾薬庫からJRの貨物線で横浜市神奈川区の羽沢ターミナルに到着し、トラックでキャンプ座間に搬入されている。川上弾薬庫のある東広島市には、中国・四国防衛局から弾薬輸送の日時・搬出入の状況などについて情報提供されているが、キャンプ座間の地元自治体である相模原市や座間市には情報提供がない。県として、地元自治体に情報提供するよう、国に求めること。
6) 米軍基地における基地開放イベントで、来場者に銃体験させることが二度とないよう、また武器の展示をしないよう、米軍に強く求めること。

以上